

第6回 東京都公金管理アドバイザリー会議 議事要旨

日 時	平成 30 年 8 月 3 日 (金) 15:00 ~ 16:45
場 所	都庁第一本庁舎 42 階北塔 特別会議室 B
出席者	委員) 鶴川委員、大崎委員、大槻委員、根本委員、幸村委員 計 5 名 事務局) 土淵会計管理局長、野口管理部長、村本総務課長、江崎公金管理課長、山下資金運用担当課長、春日井課長代理、松原課長代理、佐藤課長代理、横堀主任、有井主任、川本主任 計 11 名
欠席者	なし
議 題	1. 邦銀の本決算を踏まえた預金についての対応 2. 外国銀行の本決算等を踏まえた預金についての対応 3. 債券発行体の動向等を踏まえた債券運用についての対応
要 旨	<p>(1) 会計管理局長挨拶</p> <p>(2) 第6回東京都公金管理アドバイザリー会議の公開・非公開の取り決めについて</p> <p>本会議は、東京都公金管理アドバイザリー会議設置要綱第5条で原則公開と定めているが、委員の意見を聞いたうえで、非公開とすることができると規定している。</p> <p>議題の内容を踏まえ、委員全員が非公開にすべきとの意見を表明したことにより、今回は非公開とすることを決定。</p> <p>(3) 議題1「邦銀の本決算を踏まえた預金についての対応」</p> <p>事務局 ・預金先金融機関（邦銀）の経営状況について、本決算を踏まえ、健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関（邦銀）の評価等を報告。</p> <p>委 員 ・預金先金融機関（邦銀）とそれに応じた預金の対応については、適正なものである。</p> <p>・預金先分散を更に進めるため、今般の金融情勢・経済動向を踏まえ、安全性の高い金融機関について慎重に幅広く分析し、預金先拡充に取り組んでいくべき。</p> <p>・各預金先金融機関の収益性を分析する際には、個別行の分析のみならず、業界全体の動向分析も加味すべき。</p> <p>事務局 ・適切に預金先を分散していくため、注意深く動向を見極めながら慎重な調査分析を行い、引き続き、更なる預金先拡充に向けた取組を行う。</p> <p>・個別行の精緻な分析に加え、業界全体のトレンドも考え合わせることで、一層の安全性確保に、万全を期していく。</p>

(4) 議題2「外国銀行の本決算等を踏まえた預金についての対応」

事務局 ・預金先金融機関（外国銀行）の経営状況について、本決算等を踏まえ、健全性等の観点から分析を行い、預金先金融機関（外国銀行）の評価等を報告した。

委員 ・現段階における、預金先金融機関（外国銀行）とそれに応じた預金の対応については、適正なものである。

・ 今後は、最新のグローバルな資金の流れやカントリーリスクの状況などを踏まえ、外国銀行への預金対応について、改めて検証してみたらどうか。

・ 外国銀行は、邦銀に比べ、迅速に情報収集しにくい面があるため、慎重に対応していくべき。

事務局 ・委員の意見を踏まえ、安全性や流動性など多面的な視点から調査・分析などを行い、外国銀行への適切な対応について検討していく。

(5) 議題3「債券発行体の動向等を踏まえた債券運用についての対応」

事務局 ・債券発行体の経営状況について、決算状況を踏まえ健全性等の観点から分析を行い、債券発行体の評価等を報告した。

委員 ・債券発行体の評価内容とそれに応じた債券運用の対応については、適正なものである。

以上